

事務事業名	現年農業用施設災害復旧事業	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課	
総合計画体系	政策名	<V>挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>	所属G	農林道G	課長名	宮川 勝
	施策名	<34>農業の振興	担当者名	山本大策	電話番号	0854-40-1053
	目的:対象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。	(内線)	2403
	基本事業名	<097>農業基盤の整備・保全	予算科目	会計: 款: 大事業: 大事業名: 農業用施設災害復旧事業 0:1:5:5:0:1 項: 目: 中事業: 中事業名: 現年農業用施設災害復旧事業 0:5:1:5:0:1		

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	豪雨災害により、土砂崩壊、路肩決壊、水路の破損などの被災を受けた農業用施設(農道・水路など)を原形復旧する事業である。災害として認められる基本事項として、時間雨量20mm以上、連続雨量80mm以上のどちらかをクリアすること、また災害規模としては、被害額が40万円以上であることが必要となる。 暫定補助率: 65% R2年度 激甚災害(7箇所): 98.3% その他災害(4箇所): 94.8%

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	R2年度実績(R2年度に行った主な活動) 現場確認、災害査定11箇所 復旧工事(現年分)8箇所 復旧工事(R元繰越分)1箇所	R3年度計画(R3年度に計画する主な活動) 災害が発生したら取り組む。 復旧工事(R2繰越分)3箇所			
	② 活動指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
	ア 復旧事業費(現年)工事費	千円	57,456	2,862	14,205	0
	イ 復旧事業費(現年)委託料	千円	15,193	1,507	4,057	8,000
	ウ 復旧事業費(繰越)工事費	千円	7,397	33,118	2,200	4,000
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	被災箇所	③ 対象指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
	ア 申請箇所数	箇所	28	3	11	0		
	イ							
	ウ							
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	被災箇所の復旧を図ることにより、農林水産業の維持を図り、併せてその経営の安定に寄与する。	④ 成果指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
	ア 竣工箇所数(現年)	箇所	17	2	8	0		
	イ 竣工箇所数(繰越)	箇所	3	11	1	3		
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (2年度決算)	② コストの推移	単位	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(計画)
【現年(R2年災)】11箇所(3箇所はR3へ繰越) 工事費 14,205千円 委託費 4,057千円 事務費 236千円 計 18,498千円 【過年(R元年災)】1箇所 工事費 2,200千円 合計 20,698千円※地方債: 災害復旧債	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円	64,541	14,458	13,971	1,554
	地方債	千円	12,000	1,300	2,800	5,300
	その他	千円	697	408	257	60
	一般財源	千円	4,477	21,433	3,670	5,245
	事業費計(A)	千円	81,715	37,599	20,698	12,159
	人件費	人	6	3	7	
	正規職員従事人数	人	6	3	7	
	延べ業務時間	時間	1,200	600	560	
	人件費計(B)	千円	5,198	2,544	2,356	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	86,913	40,143	23,054	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどうか変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
単年の災害発生件数により事務量が大幅に変化するが他の類似事業(土木災害)に比べ事務量が多く、近年より詳しい資料の準備を要求されてきている。	特になし。	住民より農作業に支障があり、早期復旧の要望あり。

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合⇒	見直し余地があるとする理由
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である *余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 理由 原形復旧を原則としており向上の余地はない。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 理由 農地の荒廃につながる。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒(具体的な手段や類似事業名) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない 理由 災害復旧事業の要綱に基づき実施。	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 工法検討により、経済的なものを選択している。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 最低限の人数で対応している。	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由 復旧には平等の費用負担もされている。事業費×2%分	
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果 A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 来年度以降も従来どおりで改善は必要なし。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	② 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;"> 廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。 </p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
農林水産事業施設災害復旧事業根拠法令に基づき事業を実施している事から、今後においても急激な変化はないものと考えられる。これまで同様の業務を行う。																						